

2024年度（令和6年度）事業報告書

2024年（令和6年）4月1日から2025年（令和7年）3月31日まで

特定非営利活動法人大学経営協会

1. 事業の成果

（1）本協会の活性化を図るための施策

コロナ禍以降、講演会や各委員会は、オンラインと来場の組み合わせであるハイブリッド方式で実施して来ましたが、依然としてオンラインでの参加希望者が多く、遠方からの参加者にも配慮し、引き続きハイブリッド方式での開催としました。また、講演会では来場参加者のため、軽食を用意して名刺交換会を開催しました。

（2）会員の状況

ハイブリッド型の講演会を開催してきましたが対面参加よりもオンライン参加者の方が多い傾向にあり、新規団体会員の勧誘活動は限定的であったため新規勧誘は1件。またコロナ以降も経済的事情により学校法人1校、企業会員1社、個人会員3名の退会がありました。今まで講演会にご参加いただいた方へ向け個人会員の勧誘に務めております。

（3）ガバナンス委員会

令和5年の私立学校法の一部改正法の施行を本年4月に控え、各大学では、寄付行為を改正して文部科学大臣の認可を得るとともに、理事・評議員を改選し、新たなガバナンスの体制に移行する必要があり、その動向を見守っております。

（4）財務委員会

財務委員会では次回の検討テーマを模索しつつ、本年度は2年ごとに実施してきた資産運用状況調査の年度に当たっていたため、質問事項を修正した後に調査を実施し2025年2月に調査報告書を取りまとめました。

（5）100年委員会

100年委員会では板東新委員長の下、リカレント教育について審議を継続しております。9月には、大学における事例として、東京理科大学の小原経営企画部次長から、東京理科大学におけるリカレント教育についてお話を伺い、本年1月には、企業における事例として、富士通株式会社のEmployee Success本部と、野村ホールディングス株式会社グループ人材開発部から、両社におけるリキリングの状況等についてお話を伺い、意見を交換いたしました。

（6）2024年6月総会記念講演会、10月秋季講演会、および2025年新春講演会を開催

総会後には記念講演会として、文部科学省高等教育局私学部私学行政課長 神山 弘氏より「私学を取り巻く諸情勢について」ご講演をいただきました。

10月の秋季講演会には文部科学省高等教育局大学改革官 山下洋氏より「高等教育政策の現状と課題～私学を中心として～」についてご講演をいただき、続いて株式会社ベネッセコーポレーション大学・社会人事業セクター長 藤井 雅徳氏より「大学を取り巻く外部環境の変化について～高校生の志望動向/学生の就職活動/社会人のリスクリング」についてご講演をいただきました。

また、新春には文部科学省高等教育局長 伊藤 学司氏より「高等教育政策の諸動向について」ご講演をいただきました。全ての講演は、オンラインと一部対面参加者の組合せであるハイブリッド方式により開催し、当日視聴出来なかった方には後日期間限定によるYoutube配信を行いました。

（7）「情報の発信」

情報が古くなっていたホームページを見直し、更新・改訂しました。また会員に対する情報提供の一環として、ニューズレターの月刊での発行を継続しており、No62～No73まで発行しました。

2. 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動に係る事業)

事業名	内容	実施日等	実施場所	従業者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
情報収集 ・普及事業	ホームページによる広報、資料の購入・配布	随時	法人の事務所	3名	会員及び高等教育に関心を持つ一般市民、団体・企業	2,290
	オンライン講演会・オンラインセミナー開催	3回	日本プレスセンタービル他	353名	会員及び高等教育に関心を持つ大学・企業	
大学等経営改善支援事業	ガバナンス委員会	0回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	0名	大学関係者及び当協会会員	539
	財務委員会	1回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	7名	大学関係者及び当協会会員	
	100年委員会	2回	日本プレスセンタービル他一部オンライン	23名	大学関係者及び当協会会員	
合 計						2,829